

志す宇宙は無限 10月号

発行 楠隼高等学校 宇宙部

来るべき日のために ～卒業生のいま～

本校は、開校から九年が経ちました。卒業生も各大学に進学し、様々なところで大活躍しています。今回は宇宙業界で活躍している本校の卒業生を紹介します。

宇宙部の創部者 吉田健人 先輩（北九州市出身）

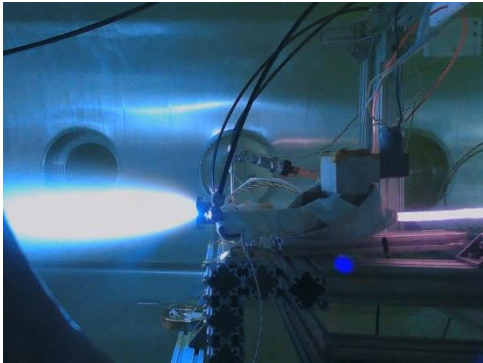
楠隼高校1期生。東京都立大学（前首都大学東京）システムデザイン学部航空宇宙システム工学科卒業。現在は、東京都立大学大学院システムデザイン研究科航空宇宙システム工学科 修士1年。

Q、現在は何をしていますか？

A、宇宙推進システム研究室という研究室に所属しています。この研究室では、宇宙機搭載用の科学推進機や電気推進機の研究をしており、私は電気推進機の一つであるアークジェット推進機の水（H₂）推進剤で動かす研究をしています。（ベンチャー企業のパールブルーが開発している水レジストジェット推進機と似ています。）また課外活動では、大学生が参加する最大級の宇宙系のイベントである能代宇宙イベントの運営に携わっていました。学部時代はハイブリッドロケットの打ち上げに参加していました。去年から運営にも携わっています。



↑学部3年のときにサークルで開発したロケットとのツーショット



↑研究中のアークジェット推進機

Q、楠隼での思い出は？

A、なんと言っても男だけの寮生活ですね。都会の男子高校生が女子と一緒にカラオケなどに行って遊んでいたであろう間に我々は男だけの校庭でサッカーや体育館でバレーボールをしていたのは今考えると良い思い出です。（隣の芝は青く見えますが、前述のような遊びは大学生になれば腐るほどできます。）

少人数であることでほかの高校生よりも同期のつながりは強いと思います。未だに楠隼の同期と連絡を取り合っています。

Q、宇宙を追求することの醍醐味は？

A、大学生になったことで宇宙に対する拘りよりモノづくりの楽しさが強いです。楠隼にいたところは小惑星探査機はやぶさの影響で探査機が一番好きで、深宇宙に強い関心がありました。一方、大学生になるとロケットを作っていたこともあり、ロケットにも興味が出て、さらには自分の手で部品を設計・製造もしていたのでモノづくり全般に興味をもちました。とはいえ、小学生ぐらいの夢を今では研究テーマにしているの、すごく恵まれていると思います。宇宙と言っても本当に分野が広いので、一見宇宙に関係なくてもどこかでつながっているような時代になっていると思います。そのため、あこがれの地というより新たなビジネスフィールドとして見た方がいいかもしれません。（もちろんロマンもありますよ！）



↑能代宇宙イベントの実験運営のようす

Q、将来は何をしていきたいですか？

A、今でも夢は夢のまま、「自分が宇宙機の大きいプロジェクトに携わること」です。ひと昔はJAXAにいないとそのようなプロジェクトには入れない感じでしたが、今ではいろいろな進路があると思います。また一言で「携わる」というのも、やはり重役をしてみたいと思うので、それには知識や経験が大事だと考

えています。キャリアを積むことを考えると、必ずしも宇宙製品を作っているメーカーに直接入るだけが正解ではなく、むしろ自分の強み（専門分野）を伸ばせる環境に身を置くことが大事なのではないかと考えています。そして、いつかヘッドハンティングでもされて重役を担う（そしていいなお給料をもらう）ことができればいいなと考えています。

Q、在校生に一言

A、「いまを楽しんでください」。いろいろ思うところはあると思います。隣の芝は青く見えるし、外野はうるさいし、ルールはいっぱい……。でも大事なのは「自分ら在校生が楽しく過ごす」ことです。いまの苦労は大学生にもなれば笑い話になる思いで出です。楠隼の今後がどうなるかは外野ではなく君たちが在校生次第です。中高校生は大人が面倒くさいと感じる年ごろでしょう。そうです、中高生はもう子供ではないので自分たちのことは自分たちで考えて議論して意見を発信してください。そして、君たちのことを本気で考えてくれていている保護者の方や先生方がいることも忘れてないでください。どうか楽しく過ごせる楠隼生活になることを祈念しております。



↑学会発表のようす

宇宙からのささやき

私たちが宇宙から地球を見るとき、
国境線は明らかではない。

カール・セーガン

宇宙はいつまでも国境のない、開かれた世界であってほしい。

宇宙部はいま・・・

現在、高校宇宙部は11月に開催される缶サットの九州大会に向けて急ピッチで缶サットの製作を行っています。夏休みに卒業生の先輩方からもミッションの立て方などのアドバイスをいただきました。基礎知識とアドバイス等も参考にしながら、優勝を目指して頑張ります。結果をお楽しみに！

壁新聞の記事も随時募集していますので、ご連絡お待ちしております。今後とも温かいご支援よろしく願います。

楠隼高等学校 宇宙部

宇宙の声

本校は開校して、来年度で十年を迎えようとしています。本校を卒業し、各々の進路へ突き進んでいく先輩方の姿は、私たちが在校生にとっても楠隼の誇りです。この素晴らしい進路実績を楠隼生として引き継がなければならぬという大きなプレッシャーを感じると同時に、モチベーションの向上にもつながります。

本号は、本校の卒業生を紹介させていただきました。宇宙部の創部者である吉田健人先輩によると、大学生でつくる代表的な宇宙系のイベントや団体のほとんどに楠隼の卒業生が代表を務めたり運営に関わっていたりするようにです。宇宙産業界では楠隼も有名になるかもしれません。

夏休みに1期生の先輩方と話をする機会がありました。その時先輩方が口を揃えて、「いまを楽しめ」と言っていました。「限られた環境の中で生活し、男だけで24時間を共にすることはもうない。一生の宝物だよ。」本校を卒業して初めてわかる本校のすばらしさもあるのかもしれませんが。楠隼の未来をつくるのは、私たちが在校生です。卒業してからも誇りを持つことができるようにしていきたいと思えます。楠隼の魅力を発信しつつより良い学校にするために先輩方が築いてきた伝統を引き継ぎ、今ある環境で存分に楽しみ、後輩へ繋いでいきます。そして、今後、先輩方が大学や大学院を卒業し、さらに大きな舞台で活躍してくれることを期待しています。楠隼の未来は今からです。大きな花を咲かせましょう。最後に、今回執筆に協力していただいた吉田健人先輩、ありがとうございました。